

速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!



とはいえ、すでに開発されてしまった区域を緑化するには屋上や壁面に緑化を施す以外には無いと思います。

原因は地面が人工的なもので覆われていること。とはいえ人工的に覆われている物を取り除くことはできません。そこで、提案されるのが「緑化」です。緑がないなら、緑を増やせば良い。という考え方です。

ヒートアイランド現象についてよく思い違いをされるかと思いますが、地球温暖化とは全く別の問題です。地球温暖化は二酸化炭素が原因で気温が上昇する現象で地球規模の問題ですが、ヒートアイランド現象はピンポイントでの現象です。

そう、地球温暖化問題の一つを解決できる可能性も秘めているのです。手軽に屋上緑化が行える
MUS500。壁面緑化の霧ヶ峰シリーズ。どうぞみなさま1平方メートルでも緑化を増やす活動を検討下されば幸いです。

葉1枚の蒸散作用など僅かですが皆が行えば相当なものとなりえます。全ての地域で行われると効果は更に期待出来ます。緑は蒸散作用だけではありません。二酸化炭素を吸収します。

な公園は2次面積、ビルやマンションの壁面緑化は最低でも1面に可能ですし、高さがありますので3次元的面積を確保できます。

東京・大手町周辺の緑化率を80%にする、1.5度程度気温が下がるなどの研究発表もあります。日本建築学会の資料によると、日本の都市部の緑化率を40%にすることで2度程度気温が下がる、と言われています。

ジョニー・デップといえば、シザーハンズ、チャリィとチヨコレート工場、近年ではファンタスティック・ビーストというようなファンタジー作品のイメージが強いハリウッドスターですが、それを一切感じさせず、*「LIFE誌で活躍した実在のフォートジャーナリスト、ユージン・スミス*を演じ、*アイリーン（元妻）*が本人が撮影中に「ユージンがここにいる」と感じさせたほどの演技を、観させてくれます。

本作の年代は1971年なので、水俣病は1956年に5歳の女児が激しい脳症状を訴え入院。その症状を保健所に報告したことからは始まっています。当時は病名も判らない奇病とされ、地名から水俣病と呼ばれるようになりました。後に水俣に有る新日本窒素肥料（現・チッソ）という化学工場から垂れ流された排水に含まれていた有機水銀が水俣湾の魚介類を侵し、それを知らずに日常的に摂

ころから始まります。水俣に着くと化学工業のチツソから海に垂れ流された有機水銀の影響で、歩くことも話すことも食事もままならない被害者や、賢明に支え合う家族の姿に衝撃を受けフォトジャーナリストとしてシャッターを切ります。



公開：2021 年（日本）

スタッフ紹介

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

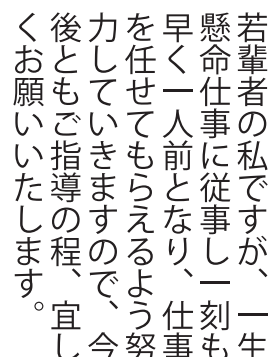
業務内容は主に製品の充填作業になります。その中でも充填スピードや作業効率を上げることができるよう日々考えながら取り組んでおります。

最近では技術部による研修をしていただき、製品につ

前職が事務でデスクワークだったため、体を動かすことがほとんどなく、力仕事ばかりの大日化成では、入社して一ヶ月程、毎日筋肉痛になっておりました。今では体も少しずつ慣れてきて、心地良い痛みとなっております。

前職は事務ですが、それ以外にも営業職をしたり、工場勤務をしたり、派遣をしたり、アルバイトを転々としたり、多くの出会いと別れを経験して地元の岡山県に戻ってきました。そこでまた、一つの縁があり大日化成の一員となりました。と嬉しく思います。

仕事に関しては、まだまだわからないことが多いですが、優しい先輩方に囲まれて、丁寧に指導していただき、毎日楽しく仕事が出来ております。



また、昨年の十一月の社員旅行では、岡山工場だけでなく、大阪本社や東京支店の皆さんともお話する機会があり、入ったばかりの新人ですが、皆さん私のことを暖かく迎え入れてくださり、たくさんの方とお話することができましたこと、とても嬉しい思い出となりました。今後とも仲良くお付き合いいただければと思います。

日本には四大公害病といわれる「水俣病」「新潟水俣病」「イタイイタイ病」「四日市喘息」という未曾有の環境汚染を原因とする公害病があります。それぞれが概ね同じ年代で発生しており、やはり高度成長期に重なっています。高度成長は国富には欠かせないものですが、その犠牲に国民の健康を侵しては元も子もありません。

ののだとしても、環境破壊や汚染を引き起こしてはなりません。映画のエンディングロールでは同じ様な環境汚染が原因で人々が苦しんでいる様子が紹介されています。世界各国で類（る）似（る）の環境汚染があり、その多さには驚かされました。

化学製品を作る上で排出される有機水銀を処理することなく大量に海に放出したということは大問題ですが、映画の中でチツソ社長がPPMという言葉を使い一定数以下なら流してもよいと言うような事を発言していますが、実際には遙かに度を越えた量を排出していたのです。製造していった製品がなくてはならな

取した人々が激烈な有機水銀中毒となつたものです。

1970年代においてもまだチツソが操業を継続していたのかと驚かれるかもしれないが、水俣の6割程度の住人が何らかの形でチツソに關わっており、雇用や税収の面で地元経済に大きく影響が出るからだとされていきます。またこの時期は高度成長期でもあり、チツソが生産していた化学製品の生産を止めると高度成長に影響を与えかねないと言う面もあつたようです。

発生から70年ほど経ち日本人が忘れかけている、あるいはそもそも水俣病を知らない世代も多くなっている中、ジョニー・デップは「自分が演じることで再び脚光を浴び、同じ事が二度と世界で起こらないようにする事が大切だ」と話しています。

本作はドキュメンタリーではなくいかにもハリウッド的に脚色され、史実とは違う面もありますがドキュメンタリー作品では、いささか脚光を浴びづらいこともあり、実際の水俣病患者の家族からも「多少違ってもその事実を知ってもらえるという意義がある」と許諾されたと言います。

過去のものではない、二度と過ちはくり返してはならない。それが本作の主題であると思えます。

られるところがあつたようですが現在においてはあつてはならないし、万が一あつた場合にはその企業はたちまち追いやられることでしょう。

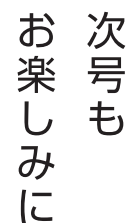
ちなみにチツソは現存しており東京に本社があります。事業部門分割先として設立したJNC株式会社に移管して水俣病の補償業務を専業とした会社になつています。このJNC株式会社の利益をチツソに配当し賠償金を支払っているようです。つまり潰れているとは決して許されず未来永劫に償っていくかなければならぬのです。



●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



URL : <https://dainichikasei.cp.jp>